

スクール（学校）ソーシャルワーク実習

[実習] 第4学年 通年 選択 SSW必修 2単位

《履修上の留意事項》面接授業と遠隔授業の併用実施

《担当者名》○福岡 麻紀 松井 祐子（非）

【概 要】

スクールソーシャルワーク実践を実際の支援場面から体験的に学び、スクールソーシャルワークの意義や目的、役割、価値・倫理について理解する。関連する講義や演習で得た理論や技術を実践的に活用する方法・技術を習得する。また、学校や関係機関、法律・制度等について、スクールソーシャルワーカーの視点から理解する。

【学習目標】

- ①実習機関における子どもと家庭のニーズ、当該地域の課題を理解する。
- ②実習機関の組織形態、運営を理解する。
- ③地域における社会資源の現状と活用・調整・開発について理解する。
- ④実習機関におけるSSWの役割、機能、業務内容について理解する。
- ⑤実習機関におけるケース会議等におけるケース検討の方法を理解する。
- ⑥他職種との連携とチームアプローチの実際を学ぶ。
- ⑦子どもと家族に対するコミュニケーションの取り方やアプローチ方法を理解し習得する。
- ⑧SSWの支援展開、支援の実際について個別事例から理解する。
- ⑨個別研究において、ミクロ・メゾ・マクロを考慮したアセスメントと支援計画の作成を行い必要な技術を習得する。
- ⑩SSWの社会的使命、価値・倫理についての理解を深める。
- ⑪SSWの今後の課題について把握する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	実習Ⅰ	学校・機関の理解 対象者の理解とニーズの把握 子どもと家族とのコミュニケーションの取り方やアプローチ方法の習得	福岡・松井
2	実習Ⅰ	ソーシャルワーカーの役割・機能・専門性の理解 他職種との連携とチームアプローチの理解 個別事例における支援展開の理解 必要な実践技術の習得	福岡・松井
3	実習Ⅱ	学校・機関の理解 対象者の理解とニーズの把握 子どもと家族とのコミュニケーションの取り方やアプローチ方法の習得	福岡・松井
4	実習Ⅱ	ソーシャルワーカーの役割・機能・専門性の理解 他職種との連携とチームアプローチの理解 個別事例における支援展開の理解 必要な実践技術の習得	福岡・松井

【評価方法】

実習施設からの評価表（50％）、実習課題・実習日誌（50％）

【備 考】

教科書 ： 使用しない

参考書 ： 日本学校ソーシャルワーク学会編『スクールソーシャルワーク養成テキスト』（2008）中央法規

その他 ： 実習は指定する実習先で行い、80時間以上とする。
スクールソーシャルワーク教育課程では専門科目群「スクール(学校)ソーシャルワーク実習」に該当する。

【学習の準備】

- ・実習計画書を確認し、事前に実習に必要な学習を行う。
- ・実習中に生じた疑問や分からない点については、翌日までに調べ、整理する。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,3,4,5

【実務経験】

福岡麻紀（社会福祉士）、松井祐子（社会福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

教育委員会でのスクールソーシャルワーカーとしての実務経験を通じて得た知識・技術等を活用し、実践的な実習教育を行う。